

「大阪国際空港の今後の運用について」に関する  
利用者アンケート集計報告書 【抜粋】

調査実施：平成16年9月11日（土）・13日（月）

大阪国際空港及びその周辺地域活性化促進協議会

「大阪国際空港の今後の運用について」に関する  
利用者アンケート集計報告書（抜粋）<目次>

1. 利用者アンケートの調査主旨	1
2. 国土交通省の大阪国際空港規制3案に対する利用者の意見、要望	2
3. 「ジャンボジェット機、DC10型機の乗り入れ禁止」について	4
4. 「ジェット枠250枠から200枠への削減」について	5
5. 「北海道、沖縄方面などの長距離路線はジェット機で運航しないように努める」について	6
6. 回答者の居住地と「ジャンボ機、DC10型機の乗り入れ禁止」とのクロス集計	7
7. 回答者の居住地と「ジェット枠の削減」とのクロス集計	8
8. 回答者の居住地と「ジェット枠の長距離使用制限」とのクロス集計	9

調査主旨)

国土交通省は、平成16年8月25日、大阪国際空港の規制策について、大型機の就航禁止やジェット機発着枠の削減、また長距離便の抑制などの規制案「大阪国際空港の今後の運用について」を発表しました。

これを受けて当協議会は、規制が実施された場合の空港利用者への影響を把握するため、アンケート(聞き取り)調査を実施しました。

### 大阪国際空港の今後の運用について(案)

平成16年8月25日  
環境整備課

大阪国際空港において、昨年11月に実施した騒音測定調査では、騒音値の増加が見られるところであるが、この増加の原因は、ほとんどがジェット機によるものであり、具体的には、平均騒音値の増加と発着回数の増加によるものであることが判明した。

また、YS代替ジェット枠は、かつてYS-11型機の適当な代替機がなかったことから設定されたものであるが、その後、DHC-8といった新たな低騒音プロペラ機が就航するなど、YS代替ジェット枠を存続する意義が薄れてきている現状にある。

以上のような状況を踏まえ、今般下記の通り大阪国際空港の運用の見直しを行うこととする。

#### 1.高騒音機材の就航禁止

- ・3発機・4発機(B747、B747-400、DC10)の就航を禁止する。

#### 2.YS代替ジェット枠の見直し

- ・ジェット枠(250枠)のうち、YS代替ジェット枠(50枠)を見直し、ジェット枠200枠・プロペラ枠170枠とする。

#### 3.上記措置の実施時期等

- (1)上記の措置は、早期に騒音軽減を実現するため、早急を実施する必要があるが、円滑な移行を図る観点から、平成17年春以降段階的に行うこととする。
- (2)ジェット枠の縮減に際しては、航空利用者の利便性を考慮し、伊丹空港のジェット枠を、中・近距離路線に優先的に使用し、長距離路線には使用しないよう努めることとし、この旨、航空会社に対して要請するなど必要な措置を講ずることとする。

以上の見直し事項について平成16年9月11日(土)・13日(月)、空港利用者(搭乗者)を対象に賛否とその理由を調査いたしました。

調査結果については、調査集計欄をご覧ください。

1) 「B747、B747-400(ジャンボジェット機) DC10型機の就航禁止」についての利用者の声

- |            |       |
|------------|-------|
| (1) 賛成である。 | 23.6% |
| (2) 反対である。 | 70.7% |
| (3) わからない。 | 5.7%  |

利用者の70%以上が「ジャンボジェット機の乗り入れ禁止」について、反対している。

「ジャンボジェット機の乗り入れ禁止」反対の理由としては、(複数回答あり)

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 座席数が減り予約が取りにくくなる。  | 77.4% |
| 禁止しても騒音軽減にはつながらない。 | 13.0% |
| その他                | 17.2% |
- 大阪国際空港を利用しにくくなることを懸念する声が多い。

2) 「ジェット枠が250枠から200枠へ削減」されることについての利用者の声

- |            |       |
|------------|-------|
| (1) 賛成である。 | 20.8% |
| (2) 反対である。 | 74.9% |
| (3) わからない。 | 4.3%  |

利用者の約75%が「ジェット枠の削減」について、反対している。

「ジェット枠の削減」反対の理由としては、(複数回答あり)

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 座席数が減り予約が取りにくくなる。  | 65.1% |
| 路線、便数が減り、利便性が低下する。 | 49.6% |
| 過去の経緯を配慮すべきである。    | 5.8%  |
| その他                | 10.2% |

この件についても、大阪国際空港を利用しにくくなることを懸念する声が多い。

### 3) 北海道や沖縄方面などの長距離路線は、ジェット機で運行しないように努める」についての利用者の声

- (1) 賛成である。 11.9%
- (2) 反対である。 83.5%
- (3) わからない。 4.6%

規制3案のうち、反対意見が最も多く、全体の8割を超えている。

長距離路線をジェット機で運航しないように努める」に、反対である理由は、(複数回答あり)

- 長距離使用制限と騒音軽減は無関係。 15.7%
- 路線、便数が減り、利便点が低下する。 64.4%
- 座席数が減り、予約が取りにくくなる。 39.0%
- プロペラ機だと快適性に不安感がある。 33.0%
- その他 8.5%

この件についても、大阪国際空港を利用しにくくなることを懸念する声が多い。

(ジャンボジェット機乗り入れ禁止)

問1)「ジャンボジェット機、DC10型機の乗り入れ禁止」について、  
どのように思われますか？(SA) (ジャンボジェット機は最大座席数569席)

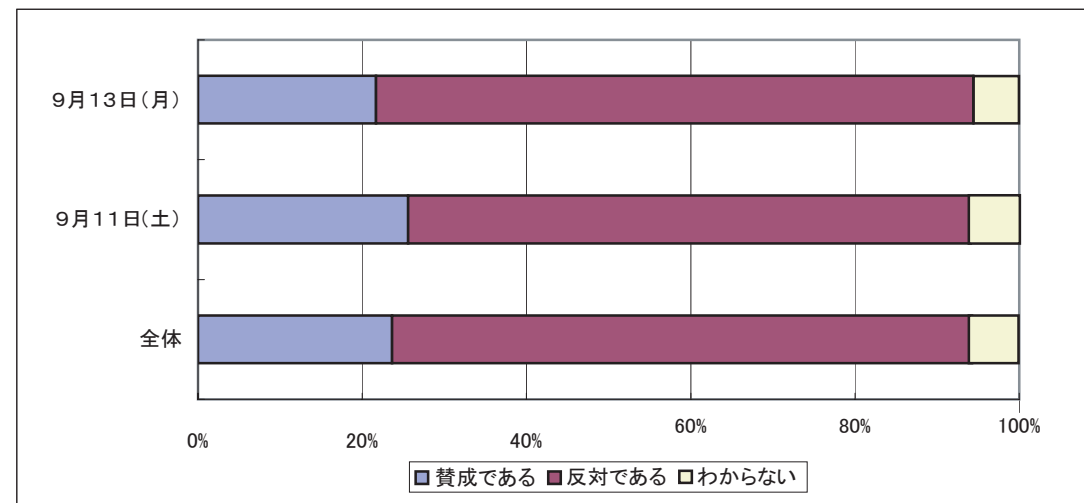
「ジャンボジェット機、DC10型機の乗り入れ禁止」については、

- ・賛成である。 23.6%
- ・反対である。 70.7%
- ・わからない。 5.7%

	合計	ジャンボ機、DC10型機の乗り入れ禁止について		
		賛成である	反対である	わからない
全体	1121 100.0%	265 23.6%	792 70.7%	64 5.7%
9月11日(土)	563 100.0%	144 25.6%	386 68.5%	33 5.9%
9月13日(月)	558 100.0%	121 21.7%	406 72.8%	31 5.5%

曜日別にみると、月曜日の方が、「ジャンボジェット機などの乗り入れ禁止」について、反対意見の人が多い。これは、利便性を重視する「仕事」目的での空港利用者が土曜日に比べて多いためと考えられる。

(利用目的を「仕事」と答えた割合は、土曜日38.9%に対し、月曜日48.4%であった。)



(ジェット枠の削減)

問2)「ジェット枠が250枠から200枠へ削減」されることについて、  
どう思われますか？(SA)

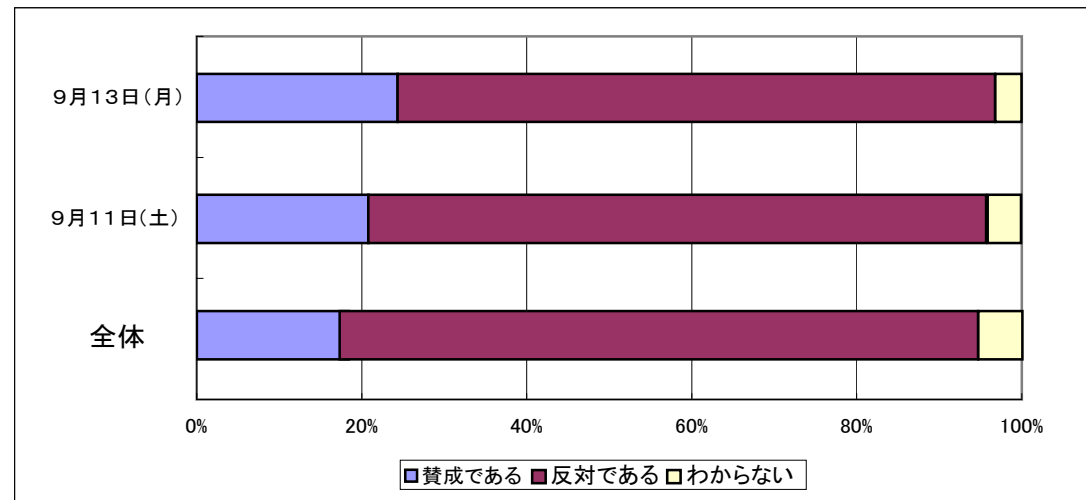
「ジェット枠が250枠から200枠へ削減」  
されることについては、

- ・賛成である。 20.8%
- ・反対である。 74.9%
- ・わからない。 4.3%

空港利用者の約75%が「ジェット枠の削減」について、  
反対している。  
月曜日の利用者に「ジェット枠の削減」に反対する人が  
多いのは、利便性を重視する「仕事」目的での空港利用  
者が、土曜日に比べて多いためと考えられる。

(「仕事」目的の利用は、土曜日38.9%、月曜日48.4%。)

	合計	ジェット枠の削減について		
		賛成である	反対である	わからない
全体	1121 100.0%	233 20.8%	840 74.9%	48 4.3%
9月11日(土)	563 100.0%	137 24.3%	408 72.5%	18 3.2%
9月13日(月)	558 100.0%	96 17.2%	432 77.4%	30 5.4%



(遠距離路線、ジェット機で運航しない)

問3)「北海道、沖縄方面などの長距離路線は、ジェット機で運航しないように努める」について、どう思われますか？(SA) (ジェット機座席数126~569、プロペラ機最大座席数74)

「北海道、沖縄方面などの長距離路線は、ジェット機で運航しないように努める」については、

- ・賛成である。 11.9%
- ・反対である。 83.5%
- ・わからない。 4.6%

「ジェット機の長距離使用制限」については、規制3案のうち反対意見が最も多く、回答者の8割を超えた。

	合計	ジェット機の長距離使用制限について		
		賛成である	反対である	わからない
全体	1121 100.0%	133 11.9%	936 83.5%	52 4.6%
9月11日(土)	563 100.0%	73 13.0%	464 82.4%	26 4.6%
9月13日(月)	558 100.0%	60 10.7%	472 84.6%	26 4.7%

